



## 3 森探検

青森県立種差少年自然の家



### ○活動の概要○

自然の家周辺の雑木林などを散策しながら、樹木・虫・草花の観察をしたり、そこに生息する野生動物の足跡や痕跡を探したりします。

#### 1 ねらい

生態や様子を探ることで、生命や自然を愛護する豊かな心情を育みます。  
(小学校 生活科/理科 中学校 理科)

#### 2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 種差少年自然の家周辺 40人程度 (1グループ10人程度)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 2～3時間

#### 3 職員の支援について

活動前に職員が説明を行うことができます。依頼があれば、案内や解説などの活動支援に入ることができます。

#### 4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・筆記用具、観察カードなど	必要に応じて
個人	・野外活動に適した服装 (防寒着、防寒具、長靴)	
自然の家	☆無線機 (緊急連絡用として) ・双眼鏡 ・フィールドスコープ ・アニマルトラッキング資料	☆必ず持って行ってもらいます。 ・27台 (小15 大12) ・9台

#### 5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 ・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。
解説係	・グループと一緒に歩き、資料と照らし合わせ、簡単な解説をする。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

#### 6 活動の流れ

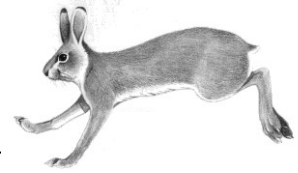
- ① 集合・活動説明 (代表責任者)
- ② 班ごとに活動
- ③ 樹木・虫・草花・痕跡を探す
- ④ まとめ

#### 7 その他

- ・ 解説係は、グループ数と同じ人数が必要です。
- ・ 事前に森探検コースの現地踏査等をしてください。

《資料》

動物たちも人間と同じように、食べて、寝て、運動して、遊びます。  
 その場所にいた動物が、  
 「どこへ向かっているのかな？」  
 「何を食べているのかな？」  
 「どこで寝ているのかな？」  
 「何という動物なのかな？」など  
 残された証拠を頼りに、推測してみましょう。



**まずは、足跡を見つけよう。**

1 個ずつ交  
互になる。

2 個ずつ並  
んでいる。

Y 字のよ  
うになる。

**どっちに進んでいるか、見きわめよう。**

足跡をよく見てみよう。つめがあるほうが前ですよ。

つめが無ければ、指のほうが前ですよ。

ヒヅメは、細いほうが前ですよ。

手のひらです。

**どこに隠れていたのか確かめよう。**

動物も休むときには、すわるのさ。だから、**すわっていた部分の落ち葉がおさされて土がむき出しになったり、雪がとけていたりするんだ。**この部分の大きさを測るとその動物の大体の大きさが分かるよ。

**足跡のそばに何か落ちていませんか。**

フン (うんち)

尿 (おしっこ) の跡

においをかいでみよう。  
よく観察してみよう。

**歩きながら何かしていませんか。**

何かを食べていませんか。

穴を掘っていませんか。

木の枝や幹にきずがつけられていませんか。